

内閣総理大臣 安倍晋三様

辺野古の米軍基地新設工事を中止してください

在日米軍基地の74%が沖縄にあることで私たちは沖縄に大きな負担を負わせています。「辺野古の海に軍事基地は要らない」が沖縄の民意で、去年の知事選、衆議院議員選挙において「普天間の代わりといえども反対である」と明確に示した候補者が勝利しました。それにも拘らず沖縄県民の声を無視して、今辺野古で作業を進めることは許しがたいことです。民家や学校の上空をヘリコプター、爆撃機が飛び交って戦場さながらの日々を過ごしている人びとの嘆きは「戦後を味わったことは一度もない」という言葉に象徴されています。独立国日本でありながら、住民の声を無視し新たな米軍基地建設を行うことに強く抗議します。

大浦湾や辺野古は絶滅危惧種のジュゴンやサンゴが生息する貴重な生物多様性の宝庫です。その海底に工事を行い、傷をつける事は取り返しのつかない自然破壊です。海外の専門家からも批判を浴びているところです。

今、現地では沖縄の民意をもって抗議活動をする人々に対して、機動隊、海上保安庁は強権的に排除しており、怪我人も出ていると悲痛な声が私たちのところにも届いています。国民を守る義務を持つ人たちが、市民に暴力をふるっているとしか言えません。戦争を体験した高齢の女性たちの必死な抗議の声も、力づくで押えこんでいます。

沖縄の民意を帯びて交渉する翁長雄志県知事の申し入れを受け入れ、辺野古の基地建設作業を直ちに中止する事を求めます。

2015年2月3日

公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会
理事長 川野 安子